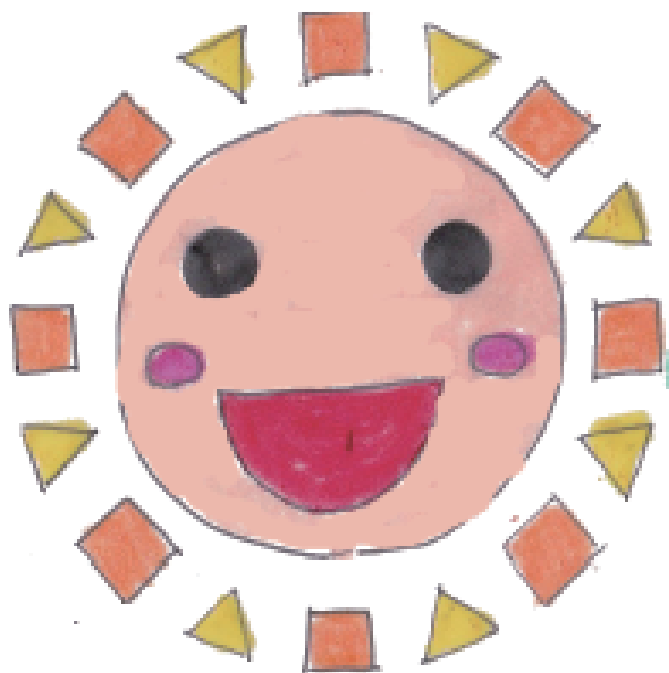


東台小學校

令和8年度

学校説明資料



令和8年6月

学校 教育 目標	「一人ひとりが輝く 光の子」ひとりひとりが／考える・感じる／理解する／伸びる／行動する ○自分なりの気づきや疑問を大切に、粘り強く解決に向かう子を育てます。(知) ○人とのふれあいを大切に、自分や友達のよさを感じ取れる子を育てます。(徳) ○自他の生命を大切に、心身共に健康に生きようとする子を育てます。(体) ○まちの人やものを大切に、自分たちのまちで生きようとする子を育てます。(公) ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)				
	創立 132 周年	学校長 源関 正浩	副校長 鈴木 博幸	2 学期制	一般学級: 22 個別支援学級: 12
学校 概要	児童生徒数: 758 人 主な関係校: 旭小学校、上寺尾小学校、寺尾中学校、生麦中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	寺尾中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<主体的に学び続けるための力> <思いや考えを表現する力> <よりよい社会の実現を目指す力>	寺尾中学校 旭小学校 上寺尾小学校	<主体的に学び続ける子><自信をもって自分らしさを表現できる子><地域とのつながりを大切にしながら進んで挨拶ができる子> ○教務主任会、専任会を通して小中学校の様子や継続的な指導の成果を定期的に行い共有する。 ○小中職員交流会、合同授業研究会、小6児童の情報交換会を通して、学校代表以外の教員も子どもたちの実態を知り、日々の指導に生かすことができるようになる。

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、子どもが安心して自分らしさを発揮できる学校づくりを進めます。 ○子ども一人ひとりの能力や個性の高まりに向けて、共に学び互いに認め合う価値ある学習活動をめざし、教育課程の改善・工夫を進めます。 ○自己肯定感、有用感に満ちた児童育成をめざし、OJTの活性化による全職員の人権意識や特別支援、授業づくり等の資質向上を図ります。 ○日々の観察とデータの活用から子ども一人ひとりの変化を捉え、学びの充実に生かします。 ○地域の教育力を大切に、学校・家庭・地域が一体となって9年間を見通した「地域に根ざした教育活動」を進めます。
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①子どもたちの実態をつかむために、教科や単元の特性を生かしたアンケートを活用する。②子どもたちが自分の課題を見つけられるように、活動量と安全面の両立を目指した活動の場を工夫する。③伝え合いを通して、対話的、協働的な学びを取り入れていく。
担当	教育課程委員会	
徳	豊かな心	①教科等横断的な学習による道徳教育の充実を行う。②児童の個性の伸長を図りながら自己肯定感を高め、豊かな道徳性を育む。③児童会活動や人権週間の取り組みを通し、学校、地域、保護者と連携しながら、社会の規則を尊重する態度を養う。※虐めへの対応、児童指導、外国につながる児童への支援関連
担当	道徳部	
体	健やかな体	①体育科の学習が楽しいと感じるとともに、自らの課題を発見・解決していくことのできる児童を育む。②学校保健委員会で「東台小クリーン大作戦！」を行い、環境を整え心身の健康の保持増進を図る。③栄養士と共に食育に取り組み、食に興味をもったり、望ましい良く習慣を身に付けたりできるようにする。
担当	体育・保健・食育部	
公開	学校運営協議会	①よりよい学校づくりに向けて意見交換を行い、改善点を明確にして地域との連携を深めていく。②学校が地域や保護者の方と同じ方向性で子どもを見守り、三位一体となって子どもを育てることができるよう職員全体で共通理解を図る。③学校便り等を通して学校運営協議会の活動を発信していく。
担当	教務部	
	いじめへの対応	①日頃の子どもの様子やY-Pの実施、面談等を通じて得た情報などをもとにいじめの早期発見に努める。②教職員での情報共有を充実させ、共通理解をもって指導したり関係機関と連携したりしながら当該関係児童保護者への指導支援や助言を行う。③日頃から未然防止に努めた学級、学校づくりを行い、継続的な指導や支援、見守りを行う。
担当	児童支援専任	
	人材育成・ 組織運営(働き方)	①メンターチームの研修を月に一度実施し、教師力・授業力の向上を図る。②各分掌での話し合いや職員会議を通して、学校運営に関して共通理解を図り、チーム東台で職員が一体となって学校運営を行う。③本校の実態に合わせて活動内容や方法の見直しを行うことで業務の効率化、効果的な活動を行い、よりよい組織運営や学校づくりにつなげていく。
担当	教務部	
	特別支援教育	①外部機関との連携を図り、児童理解や支援の向上を図る。②特別支援委員会やケース会議を適時開催し、具体的な支援を共有する。③打合せや職員会議等で児童理解をすすめる。④研修を計画的に行い、特別支援への教員の意識を高める。⑤特別支援教室を活用し、不登校児童への支援を充実する。
担当	特別支援委員会	
	児童指導	①東台小のきまりを全職員、保護者に周知し一貫性のある指導を行う。②日常の中で指導の必要な事案については実態や内容に応じた対応を適宜行う。また、関係機関と連携しながら地域での子どもたちの様子について情報共有をし、指導に生かしていく。③日常のかかわりあいやアンケートを通して実態を把握し、いじめやからかい等は許さない毅然とした指導に努める。
担当	指導委員会	
	国際教室	①国際教室担当が国際教室で取り出し学習や在籍級への入り込み支援を行う。日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行い、児童が安心して楽しく学校生活を送れるようにする。②国際交流ラウンジ、母語支援ボランティア、日本語教室、鶴見ひまわり等と連携して支援を行う。③多文化共生について継続して人権週刊等のテーマに入れて取り組む。
担当	国際教室担当	
	GIGA推進	①「情報活用能力育成のための系統表」を作成して3年目となるが、今年度は職員のAI活用を視野に入れて系統表の改善を図る。②今年度導入されたTeamsのよりよい活用法を調べ、職員に周知する。③昨年度に引き続き、教職員の授業改善・働き方改革につながるよう、教材の共有化を図る。
担当	GIGA委員会	

令和8年度の学習の取組

子ども達の実態をとらえ、成長に適した学習計画を考えます。そして、評価と改善を繰り返しながら、資質・能力の向上を図っていきます。

・重点科目として「体育」を中心に研究を進め、各教科等の指導を通して、子ども達の資質・能力の向上を図ります。






・育成を目指す資質・能力は次の三つの柱で整理されています。


「何を理解しているか、何ができるか」

「理解していることやできることをどう使うか」

「どのように社会と関わり、よりよい生活を送るか」

各教科の取組

<p>国語</p> <p>自分の思いを伝えられるように言語活動を大切に学習していきます。その力が他教科でも活用できるように意識して指導します。</p> 	<p>算数</p> <p>積み重ねを大事にして学習を進めます。自分の考えを自分の言葉で伝えたり、友達の考えを聞いたりして学び合いが深まるように工夫します。</p> 
<p>理科</p> <p>興味関心が高まるように、日常生活や生活科での体験などと関連させながら、学習を進めます。問題を解決していけるように、各学年のねらいを大切に、指導します。観察・実験では、事故防止に十分留意します。</p> 	<p>社会</p> <p>可能な限り、見学や体験を通して理解を深めていきます。実社会と照らし合わせて課題を設定していきます。</p> 
<p>生活</p> <p>観察や体験を通して、季節の移り変わりや人とのつながりを学びます。</p> 	<p>総合</p> <p>教科横断的に取り組むことができるように、子ども達と学習を構築していきます。地域や人との関わりが持てるような活動を工夫します。</p>

<p>図工</p> <p>子ども達が感性や想像力を働かせ、創造的に発想や構想ができるように学びます。</p> 	<p>音楽</p> <p>音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に対する感性や音楽に親しむ態度を養います。</p> 
<p>体育</p> <p>運動の楽しさや喜びを味わえるよう活動を進めます。</p> <p>縄跳びなど、体力の向上を意識した活動を取り入れていきます。</p> 	<p>家庭科</p> <p>家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて学び、生活をよりよくしようと工夫する態度を養います。</p> 
<p>外国語科・外国語活動</p> <p>外国人講師との活動を通して、外国語を用いて進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。</p> 	<p>特別活動</p> <p>東台小学校の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画する活動をしています。今年度もペアでの活動を中心に実施していきます。相手の考えを理解しようとしたり、認めたりする力を養います。</p>
<p>道徳</p> <p>道徳性を養うため、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。</p> 	<p>ひかりちゃんタイム</p> <p>水曜日13:10～「ひかりちゃんタイム」を実施しています。この時間は、学校や学級、自分自身を見つめ、よりよいものにしようとする時間です。学校生活について話し合ったり、友達と仲良くなるためのレクをしたりしています。</p>
<p>学校行事</p> <p>集団への所属感や連帯感が深まるように、儀式的行事や体育的行事、遠足・宿泊行事、奉仕的活動などを実施していきます。避難訓練も定期的にも実施します。</p> 	<p>休み時間</p> <p>通常時は、30分間のロング中休みを実施しています。校庭では、安全のために、中休みのボール遊びはしていません。本に親しんでもらえるように図書室も利用できます。</p> 

児童指導について



こういうことをしてはいけないよ!



みんなが安心!

「児童指導」と聞くと、このような様子を想像する方も多いかもかもしれません。

しかし、何かが起きたときに指導するだけでなく、起きないように未然防止の支援や指導をしていくというのも、児童指導です。東台小学校は、「みんなが安心」できる学校を目指しています。「みんな」というのは、子どもたちはもちろん、保護者の皆様も、教職員も、地域の方も含めて考えています。東台小学校の一員、地域の一員として、一人ひとりが考えて行動できるように指導をしています。そのために行っていることを具体的にいくつかご紹介します。

【行っていること】

① 分かりやすい指導

例えば、道の歩き方や校庭での遊び方など、全校の子どもたちに気をつけてほしいことは、ポスターを作成したり、具体的な表現をしたりして、1～6年生までみんなが理解できるようにしています。



② アンケート調査

東台小学校は、子どもたちの数も多いですが、教職員も数多くいます。多くの目で子どもたちの様子を見守り、変化に気付いていけるようにしています。また、5月と12月にいじめ早期発見のためのアンケートを実施したり、子どもたちと担任の先生とで面談をしたりして、子どもたちからも発信できるような機会を設けています。先生には言えなくてもご家庭で困ったことを話すこともあるかと思いますが、そのような時にはぜひ学校にも教えてください。

③ いじめへの対応

互いの良さを認め合えるような学級づくり、学校づくりをしていきます。しかし、多くの人との関わりの中で、うまくいかないこともあります。相手が嫌な思いをしたら、それは「いじめ」となります。そのときには、丁寧に事実を確認し、複数の教職員で対応に当たるようにします。当該児童や保護者へ支援をし、関係児童に指導をしたり、保護者への助言をしたりします。その後も、子どもたちが安心して過ごせるように、職員間で情報を共有し、継続的に見守るようにしていきます。また未然防止の取り組みとして、横浜プログラムを実施していきます。横浜プログラムとは、コミュニケーションやSOSを出すスキルを高めるための活動や話し合いを意図的に組んだものです。プログラムを通して、どうしたら自分

の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを理解したりできるのか体験的に学ぶ機会を大切にしていきます。

【気を付けていきたいこと】

自分の楽しさや、やりたいことを優先し、周りが見えなくなってしまうとトラブルになるということがあります。また、最近、次のようなトラブルも増えています。防犯教室・サイバー犯罪防止教室などの機会を通して指導もしていきますが、ご家庭でも今一度、子どもたちと話をしてみてください。

①インターネットトラブル

スマートフォン、タブレット、ゲーム機などが普及し、インターネットを手軽に活用でき、様々な利用法が広がっています。子どもたちはインターネットを活用する以上、フィルタリングや使用範囲を制限しなければ、大人と同じルールの中で扱うことが求められてしまいます。実際に以下のようなトラブルが考えられます。

- ・ゲーム内のボイスチャットやチャットによる誹謗中傷
- ・ゲーム内のグループはずし
- ・ゲーム内の課金、課金アイテムの交換・譲渡
- ・SNS で知り合った人との連絡、遊ぶ約束
- ・動画投稿サイトへの動画のアップ



また、動画の視聴やゲームの利用には R 指定のあるものがあります。お子さんの利用方法の把握と利用の約束の確認をお願いします。

②金銭トラブル

地域や商業施設等で過ごす際に金銭の授受でトラブルになり、結果的に大きな問題に発展したり、事件に巻き込まれたりすることが考えられます。金銭授受はたとえ仲の良い関係であっても行ってはいけません。最初は少額と思っていたものが、いつのまにか大きな金額に膨れ上がり、取り返しがつかなくなることもあります。最近では、ネットゲーム（課金）などにより、金銭感覚が麻痺して、事実が把握しにくくなる危険性もあります。金銭授受が行われる背景には、金銭を持ち出せる環境や、子どもたちの金銭感覚、規範意識の問題やいじめの問題が潜んでいる場合もあります。事案によっては、民事や刑事事件に発展することもあります。このことから、子どもたちの金銭授受については、「行ってはいけない行為」として学校では指導いたしますので、ご理解いただき、ご家庭でもご指導をお願いします。



学校や社会には、様々なきまりがあります。それを教え、守らせることももちろん大切ですが、どうしたら、みんなが気持ちよく過ごせるかを考えて行動できるようになってほしいと思っています。何か気になることがあれば学校にお知らせください。よい姿が見られたらそのときも教えていただけると幸いです。

それぞれのよさを輝かせて、一人ひとりが「光の子」になれるように、保護者の皆様も、地域の皆様も、ご協力をお願いいたします。



特別支援教育



教職員だけでなく、学校カウンセラーや SSW(スクールソーシャルワーカー)、その他の外部機関と連携しながら、支援の仕方を考えています。

ひだまりルーム(特別支援教室) ※不登校支援

個別に支援を行うことで、精神的な安定を図り、学習や生活の基本的なルールの習得を目指しています。個→小集団→中集団で過ごすことを通して、人と関わることや集団で過ごすことの良さを感じ、学級で安心して過ごせるように支援しています。

国際教室

国際都市である横浜には、外国につながる児童がたくさん在籍していて、日本語指導が必要な児童が一定数以上いる学校に国際教室を設置しています。本校も国際教室を設置しています。

【支援内容】

- ①国際教室・・・担当教員が日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行います。国際教室での取り出し学習と在籍級への入り込み支援があります。
- ②日本語教室・・・専門的な資格を持つ日本語講師が、基礎的な日本語指導を行います。
- ③母語支援ボランティア・・・授業中に児童の横で授業内容の通訳を行ったり、個人面談で保護者への通訳を行ったりしていただいています。
- ④鶴見ひまわり・・・来日間もない子どもたちに約12日間(水、木、金曜日 4週間)、集中的な日本語指導や学校生活に適応するための指導、子どもと保護者向けの母語によるガイダンスを行っています。

どのような支援が必要か、国際教室担当、担任、保護者、児童で相談して、決めます。子どもたちが、いろいろな友達と違いを認め合い、良いところを見つけ合い、みんなが安心して楽しく過ごせるように支援や指導をしています。

